2016年 新春

日本共産党

立憲主義・民主主義をとりもどし

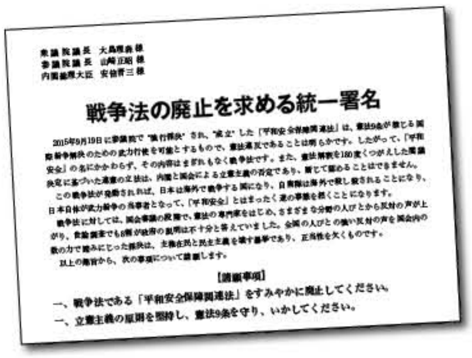
新しい政治を拓(ひら)きましょう

池内さおり衆院議員（左から3人目）、そねはじめ都議（同5人目）と日本共産党北区議員団　=北とぴあ・平和の像前で

戦争法廃止へ 2000万の署名を

昨年９月に安倍自公政権が強行した戦争法（安保法制）によって、自衛隊の南スーダン PKO 部隊の任務拡大、アメリカの要請にもとづく IS への空爆支援などの危険が切迫しています。日本共産党は、戦争させない・９条壊すな！ 総がかり行動実行委員会が全国に呼びかけた 2000 万人「戦争法の廃止を求める統一署名」を推進し、野党と国民の共同による「戦争法廃止の国民連合政府」実現に全力をつくします。

署名へのご協力を、ぜひお願いします。



戦争法の廃止を求める統一署名

【請願事項】

一、戦争法である「平和安全保障関連法」をすみやかに廃止してください。

一、立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守り、いかしてください。

「障害者差別解消法」4月から施行
北区に障がい者入所施設を

この４月、障害者差別解消法が施行。「合理的配慮」をキーワードに、バリアフリーのまちづくりや理解を深め合う交流の機会が求められます。

さがらとしこ区議は昨年の第４回定例会代表質問で、文京区が開設した入所施設を視察し「北区にも必要では」と質しました。区長は、社会福祉法人などによる整備誘導を検討するとともに、相談支援体制の充実に力をつくすと答えました。

お困りごと・ご相談はお気軽に地元の区議会議員へ

日本共産党北区議員団　TEL 3908-7144　FAX 5993-0280

宇都宮　章
神谷3-10-8-401
090-4127-7550
神谷、東十条1～4、王子1丁目4～28番、2丁目1～20番、同23～32番、3丁目1～19番、4丁目1～24番、王子5、豊島1丁目1～11番

さがらとしこ
赤羽北3-23-17
3905-0970（事務所）
桐ヶ丘、赤羽台1･2丁目、3丁目19～30番、同17番74号を除く17番全部、赤羽西5･6丁目、赤羽北3丁目

ながいともこ
浮間3-1-54-302
080-4429-6338
浮間、赤羽北1･2丁目、赤羽西1～4丁目、赤羽台3丁目1～16番、同17番74号と18番、赤羽台4丁目

野口 まさと
東十条5-16-10
070-5658-0603
上十条、中十条、十条台2丁目、十条仲原、岸町2丁目、西が丘、東十条5･6丁目

のの山 けん
岩淵町22-31-401
090-2156-3510
赤羽、赤羽南、岩淵町、志茂

福島　宏紀
豊島5-4-1-615
090-1206-6925
豊島5丁目、6丁目8～15番、7丁目15～33番、豊島8丁目、王子3丁目20～24番、4丁目25～28番、王子6丁目

本田　正則
田端3-4-12-305
090-9240-8066
田端、中里、西ヶ原、上中里1丁目、東田端、田端新町、昭和町

やまき 直人
滝野川2-34-4-201
3917-9827
滝野川、王子1丁目1～3番、王子本町、岸町1丁目、十条台1丁目

山崎 たい子
豊島7-19-10
090-2160-1292
豊島1丁目12～39番、豊島2～4丁目、6丁目1～7番、7丁目1～14番、王子1丁目29･30番、2丁目21･22番、堀船、上中里2･3丁目、栄町

日本共産党北区議員団ニュース
2016年 新春号
発行:日本共産党北区議員団
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
日本共産党北区議員団　検索
http://kyoukita.jp

住民に届けられているマイナンバー通知

プライバシー侵害、情報漏えい、莫大な費用、徴収強化…

マイナンバー制度は中止に

個人番号を通知する簡易書留が大量に返送されるなど、課題を残したまま始まったマイナンバー制度。のの山けん区議は第４回定例会個人質問で、個人番号カードの申請はあくまでも任意であり、カードがなくても手続きが進まないような事務はないことを確認。さらに、プライバシー侵害、情報漏えいの危険、費用対効果、徴収強化と社会保障の負担増・給付減という制度の重大な問題点を指摘し、「マイナンバー制度の中止を国に求めよ」と迫りましたが、区長は「（マイナンバー制度は）しっかりやっていく」などと答えました。

沖縄米軍基地陳情

辺野古問題、対話で解決を

辺野古基地建設に関して沖縄県との対話で解決を求める住民陳情に対し、日本共産党は「力で押さえ込む国のやり方は自治権侵害そのもの。対話での解決は当然」と採択を主張。昨年12月４日の最終本会議では、共産、民主ク、社民、新社会が採択を表明しましたが、自民、公明、元気会、維新が不採択とし、陳情は反対多数で不採択となりました。

特定整備路線

認可取消し裁判初公判 86号線で環境悪化

東京都がすすめる志茂地区補助86号線計画の事業認可取り消しを求める裁判の初公判が、昨年10月28日、東京地裁で開かれました。原告の住民らは、北清掃工場建設時に都と住民との間で交わされた公害防止協定をしめし、20mの道路拡幅による交通量の増加が「周辺環境を悪化させない」とした同協定に違反すると主張。認可撤回を求めました。

477億円の積立金活用し 暮らし応援の予算を

日本共産党北区議員団は昨年11月19日、区内の諸団体や各界の方々との懇談を重ね、９つの柱466項目の内容にまとめた2016年度予算要望書を北区に提出し、花川区長にその実現を強く求めました。区長は「いずれも区民や団体からの切実な要望と受けとめ、十分に検討していきたい」と答えました。

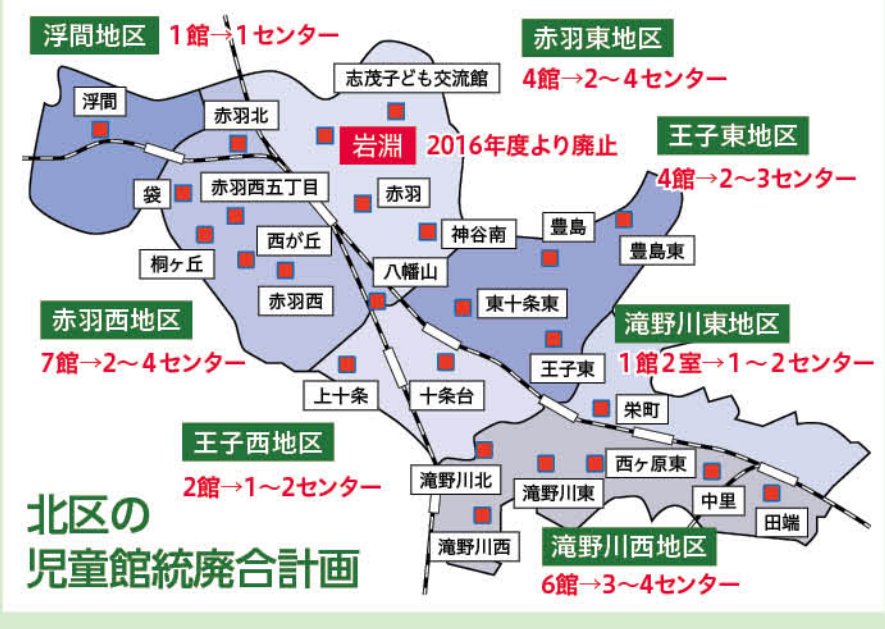
区民要望の実現を申し入れる日本共産党北区議員団と池内さおり衆院議員

保育園435人の定員拡大へ

2011年には33人まで減った保育園の待機児は、その後増え続け、昨年４月には160人になりました。日本共産党は、さらなる定員の拡大を求めてきましたが、区は今年４月、新たに435人（新規開設分390人、定員変更分45人）の定員を増やす計画をしめしました。日本共産党が提案した都有地活用の新しい保育園も、赤羽と田端に２園開設の運びとなります。

児童館再編

子どもの遊び場を 奪わないで

区議会第４回定例会では、岩淵児童館を来年度より廃止する条例改正がおこなわれました。日本共産党は「子どもの遊び場を奪うもの」として反対しました。

北区は今後、25ある児童館を乳幼児向けの子どもセンターと、中高生向けのティーンズセンター併設の子どもセンターに統合・再編し、15～17センターに削減する方針を決めていますが、利用者からは「放課後プランより児童館の方が好きな子どももいる。急に別の児童館へ行けと言われても困る。なくさないでほしい」との声が寄せられています。